

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

〔アバディーン・ファンド・セレクション〕海外高格付け債ファンドBコース（為替ヘッジなし）は、2018年12月10日に第40期の決算を行いました。

当ファンドは、世界主要国（日本を除く）の国債をはじめとした各種投資適格債に分散投資します。原則として為替ヘッジを行いません。当期も方針に沿った運用を行いました。ここに運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

ファンド名称の変更のお知らせ

「〔アバディーン・ファンド・セレクション〕海外高格付け債ファンド」は、2019年3月9日付で、「〔アバディーン・スタンダード・ファンド・セレクション〕海外高格付け債ファンド」へ名称変更する予定です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

本書記載事項以外の詳細な内容を記載した運用報告書（全体版）は当社ホームページ（右記アドレス）でご覧いただけます。

書面での交付をご希望の場合には、販売会社を通じて交付いたします。

右記ホームページの左端にある「ファンド情報」のメニューから「運用報告書」を選択することにより、当ファンドの運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

〔アバディーン・ファンド・セレクション〕 海外高格付け債ファンド

Bコース：為替ヘッジなし

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第40期

決算日：2018年12月10日

第40期末 (2018年12月10日)	
基準価額	12,496円
純資産総額	2,744百万円
作成対象期間 (2018年6月12日～2018年12月10日)	
騰落率 (分配金(税引前)再投資後)	1.9%
分配金(税引前)	80円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

アバディーン・スタンダード・インベストメンツ株式会社

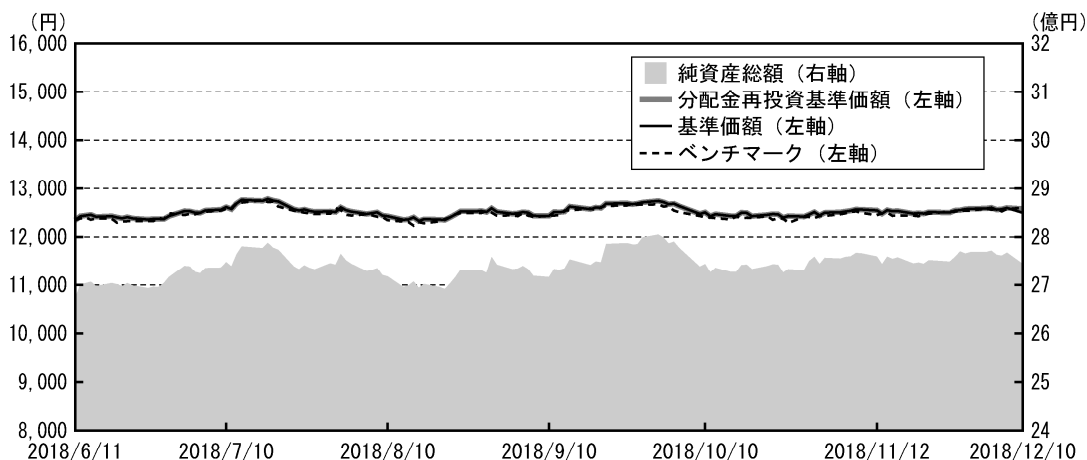
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ9階
お問い合わせ窓口 03-4578-2251

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。)
インターネット・ホームページ <http://www.aberdeen-asset.co.jp>

●運用経過

当期中の基準価額等の推移について

ファンド	当ファンドは第40期の決算を迎え、基準価額は前期末の12,346円から当期末には分配金80円込みで12,576円、値上がり額は230円、当期の騰落率は1.9%の上昇となりました。
ベンチマーク	ベンチマークであるF T S E世界国債インデックス（除く日本/円ベース）の騰落率は2.1%の上昇となり、当ファンドの騰落率はこれを0.2%下回りました。



- (注1) ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の評価基準又は目標基準とする指標）は、『F T S E世界国債インデックス（除く日本/円ベース）』です。ベンチマークは、基準価額への反映を考慮して基準日前営業日の終値を採用し、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはファンドおよび販売会社の取り決め、もしくはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるので、上記の推移がお客様の損益の状況を示すものではありません。

第40期首	12,346円
第40期末	12,496円（既払分配金（税引前）80円）
騰落率	1.9%（分配金（税引前）再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

上昇要因	米国金利の上昇等から米ドル高に転じ、円安による為替差益から基準価額は上昇しました。
下落要因	世界主要国（日本を除く）の国債をはじめとした各種投資適格債に分散投資し、世界的な債券の利回りが低位安定しつつも米国および英国では利回りが上昇に転じ、基準価額は下落しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第40期 (2018年6月12日～ 2018年12月10日)		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
平均基準価額	12,543	—	期中の平均基準価額です。
信託報酬 (委託会社) (販売会社) (受託会社)	84 (40) (41) (3)	0.670 (0.319) (0.327) (0.024)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料 (先物・オプション)	1 (1)	0.008 (0.008)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	2 (1) (1) (0)	0.018 (0.008) (0.008) (0.002)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンド監査に係る費用
合計	87	0.696	

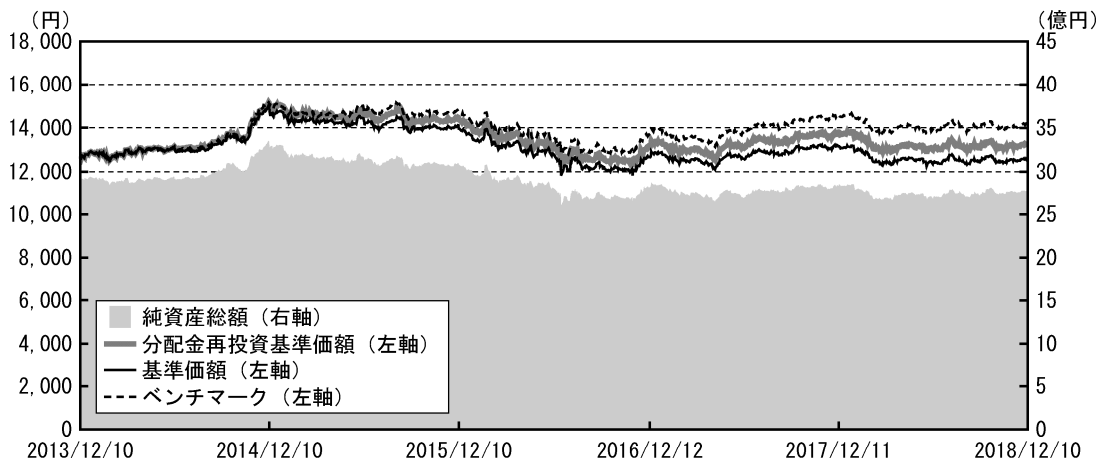
(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 項目毎に円未満は四捨五入し、単位未満は0円と表示しています。

最近5年間の基準価額等の推移について



- (注1) ベンチマーク (ファンドの運用を行うにあたって運用成果の評価基準又は目標基準とする指標) は、『FTSE世界国債インデックス (除く日本/円ベース)』です。ベンチマークは、基準価額への反映を考慮して基準日前営業日の終値を採用し、2013年12月10日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはファンドおよび販売会社の取り決め、もしくはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるので、上記の推移がお客様の損益の状況を示すものではありません。

最近5年間の年間騰落率

決算日	2013年12月10日	2014年12月10日	2015年12月10日	2016年12月12日	2017年12月11日	2018年12月10日
分配落ち基準価額 (円)	12,703	14,701	13,956	12,677	13,170	12,496
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	270	140	100	130	130
分配金再投資基準価額騰落率	—	18.0%	△4.1%	△8.4%	4.9%	△4.1%
ベンチマーク騰落率	—	18.1%	△2.3%	△6.3%	6.4%	△2.7%
純資産総額 (百万円)	2,898	3,275	3,065	2,806	2,824	2,744

投資環境について

2018年6月から8月にかけての債券市場は、トランプ大統領が米連邦準備理事会 (FRB) による利上げ継続に不満を表明したことなどが金利上昇の抑制要因となりましたが、9月にはFOMCで利上げを継続する意向が示されたことが金利の上昇を後押し、米国10年債利回りが3%を超えました。欧州は欧州中央銀行 (ECB) が金融緩和解除の見通しを堅持したことも金利の押し上げ要因となりました。10月には米国10年国債利回りは年初来の最高水準値となる3.25%を上回り、ドイツ10年債利回りは0.5%台後半まで上昇する場面もありました。しかし、米国では民主党が下院を制し、財政懸念が後退したことや早期の利上げ打ち止め期待が高まったことから、10年債利回りは11月末にかけて3%割れとなりました。

為替相場は、ユーロ・米ドル相場がもみ合う中、米中貿易摩擦を受けて1米ドル=113円台まで円安・米ドル高となりました。

ポートフォリオについて

当ファンドは、期中を通じてF S 海外高格付け債マザーファンドへの投資比率を高位に保ち、実質的な運用は同ファンドで行いました。種別別配分は引き続き9割近くをサブリン債、それ以外を事業債としました。

通貨配分は、ユーロはアンダーウェイト、米ドルにはオーバーウェイトとしてきましたが、期末にかけて中立に推移しています。引き続きニュージーランド・ドルの為替を保有しましたが、期末には半減しています。なお、オーバーウェイトしてきたスイス・フランは、9月に当ファンドのベンチマークであるF T S E 世界国債インデックス（除く日本／円ベース）において投資対象国から除外されたこともあり、全て売却しました。スイス除外は時価総額の縮小に伴い、ベンチマークの市場サイズ要件を下回ったためですが、為替においてスイス・フランへの投資は有効と考えており、当ファンドでは運用ガイドラインの変更を準備しています。

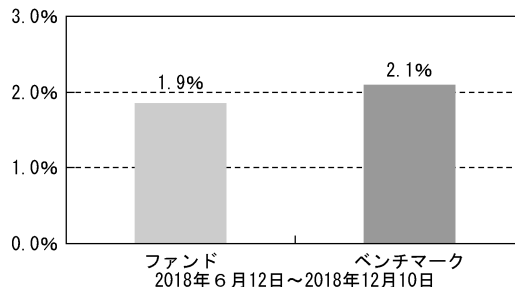
地域／国別配分は、ユーロ圏において、ベンチマーク中立としてきたベルギー国債を全売却し、その分をフランスに上乘せしてアンダーウェイトから中立に戻しました。ユーロ圏全体ではアンダーウェイトを維持しています。ノルウェーの国債を引き続きオーバーウェイトしています。

修正デュレーションは、ポートフォリオ全体では引き続きベンチマーク並みの約7年を維持しましたが、期中においては、大きく変動したイタリア等で先物を用いた機動的な運用を行い、ポートフォリオ全体でも0.5年程度上下幅を持たせました。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークであるF T S E 世界国債インデックス（除く日本／円ベース）の騰落率は2.1%の上昇となり、当ファンドの騰落率はこれを0.2%下回りました。主なプラス要因は、通貨での米ドルのオーバーウェイトが貢献し、一方で主なマイナス要因は、好調だった前期から利回りの上昇したメキシコへのオーバーウェイトでした。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



分配金について

基準価額の水準等を勘案し、当期末に80円（税引前）の収益金を支払いました。なお収益分配に充てなかった利益は信託財産に留保し留保金の運用については特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

	第40期 (2018年6月12日～2018年12月10日)
当期分配金	80
（対基準価額比率）	0.636%
当期の収益	80
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,227

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

●今後の運用方針について

F S 海外高格付け債マザーファンド受益証券を通じて、今後とも当ファンドにおいて外国公社債等への高い組入比率を維持する予定です。

低金利が世界的に続く環境下で、同マザーファンドにおいては運用基本方針に従い、為替や金利水準を見極めながら、各種の投資ウェイトはユーロ圏地域と、米国を中心とした地域で概ねベンチマークに対し中立を基本とし、地域内において調整していく予定です。修正デュレーションについては地域間でのバランスを取りつつ、ポートフォリオ全体としてベンチマーク比で中立水準としていく方針です。

なお、一時的な金利や為替の局面では、地域配分やデュレーション調整のため国債先物、為替予約等を活用して短期的なポジションを構築し、裁定取引等の機会を活かしていきます。

●お知らせ

◇ファンドの名称変更のお知らせ

「[アバディーン・ファンド・セレクション] 海外高格付け債ファンド」は、2019年3月9日付で、「[アバディーン・スタンダード・ファンド・セレクション] 海外高格付け債ファンド」へ名称変更する予定です。なお、本変更に伴う当ファンドおよびマザーファンドの運用方針や運用体制等につきましては変更ございません。

2017年8月、弊社の親会社であるアバディーン・アセット・マネジメントPLCがスタンダード・ライフplcと合併し、スタンダード・ライフ・アバディーンplcとなりました。これに伴い、その傘下で資産運用部門を担う関連法人は「アバディーン・スタンダード・インベストメンツ」ブランドのもとで運営しております。今般のファンドの名称につきましても、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・グループのブランディングの統一化の一環として行います。

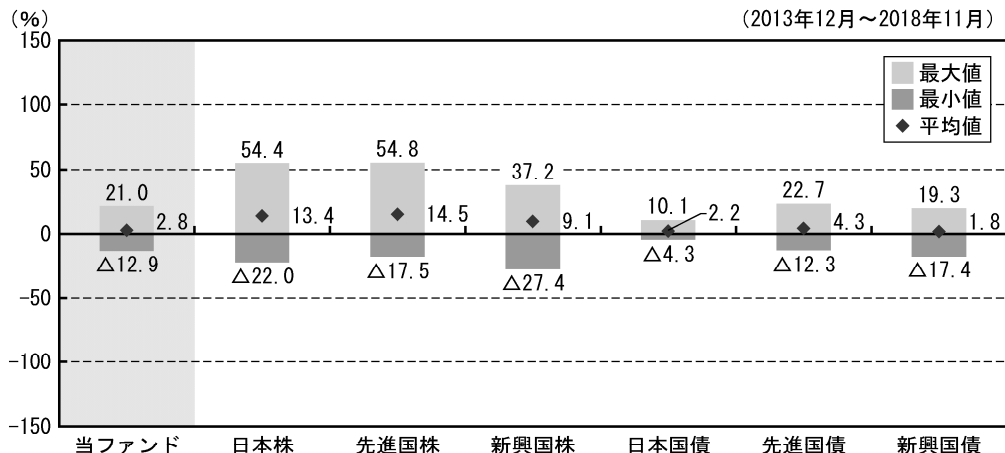
●当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	世界主要国（日本を除く）の国債をはじめとした各種投資適格債に分散投資します。原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	海外高格付け債ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	F S 海外高格付け債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	F S 海外高格付け債マザーファンド	日本を除く先進主要国の各種投資適格債（「BBB-」格以上の債券）を主要投資対象とします。
当ファンドの運用方法	海外高格付け債ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	マザーファンド受益証券の組入れには制限を設けません。
	F S 海外高格付け債マザーファンド	①外貨建資産の投資割合には制限を設けません。 ②株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎決算時（原則として毎年6月10日および12月10日）に、経費控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額の水準等を勘案して分配を行います。ただし、分配金は税金を差引いた後、自動的に全額再投資されます。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

●参考情報

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



*2013年12月～2018年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を、当ファンド及び代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したとみなす分配金再投資基準価額により計算され、実際の基準価額に基づく騰落率とは異なる場合があります。騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・FTSE日本国債インデックス

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

注：海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 「東証株価指数（TOPIX）」に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表方法の変更、「TOPIX」の算出もしくは公表の停止または「TOPIX」の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」および「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「FTSE日本国債インデックス」および「FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）」とは、J.P.Morgan Securities Inc. が算出し公表している指数です。当指数の著作権は、J.P.Morgan Securities Inc. に帰属します。

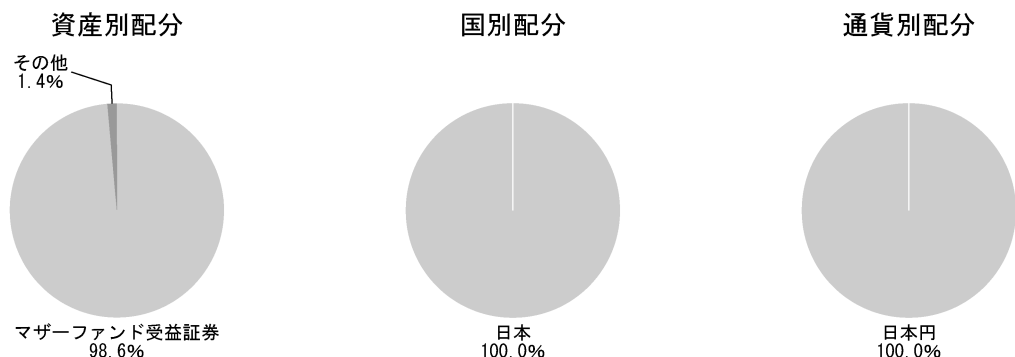
● ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

海外高格付け債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	比率%
F S 海外高格付け債マザーファンド	98.6
コール・ローン等、その他	1.4

種別配分等



(注1) 組入ファンド、資産別・国別・通貨別配分の各データは当ファンドの直近の決算日である2018年12月10日現在のものです。

(注2) 組入ファンド、資産別・国別・通貨別配分の各比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

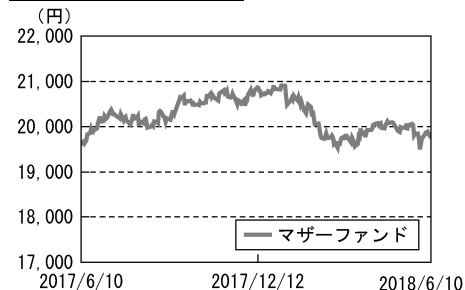
純資産等

項目	第40期末 (2018年12月10日)
純資産総額	2,744,828,781円
受益権総口数	2,196,504,063口
1万口当たり基準価額	12,496円

(注) 当期における追加設定元本額は151,807,229円、同解約元本額は120,521,029円です。

組入ファンドの概要

◇FS海外高格付け債マザーファンド 基準価額等の推移



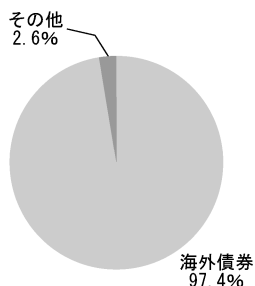
組入上位10銘柄

組入銘柄数：57

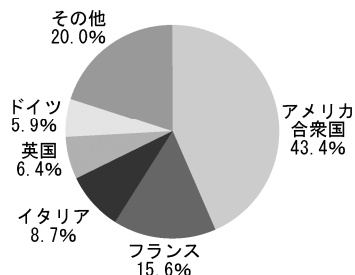
	銘柄名	クーポン	償還日	組入比率
1	1.5% US TREASURY N/B	1.500%	2020/04/15	9.4%
2	2.375% US TREASURY N B	2.375%	2027/05/15	8.7%
3	0% FRANCE (GOVT OF)	-	2021/05/25	7.8%
4	2.5% US TREASURY N/B	2.500%	2045/02/15	4.8%
5	1.6% BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.600%	2025/04/30	4.0%
6	1.2% BUONI POLIENNALI DEL TES	1.200%	2022/04/01	3.7%
7	1.75% US TREASURY N B	1.750%	2022/05/31	3.2%
8	0.5% FRANCE (GOVT OF)	0.500%	2025/05/25	3.0%
9	5.5% AUSTRALIAN GOVT	5.500%	2023/04/21	2.9%
10	1.5% FRANCE (GOVT OF)	1.500%	2031/05/25	2.8%

種別配分等

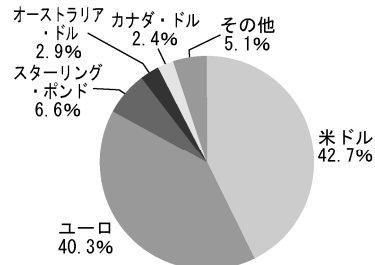
資産別配分



国別配分



通貨別配分



1万口当たりの費用明細

項目	マザーファンドの直近決算期 (2017年6月11日～2018年6月10日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額：20,221円		
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	4 (4)	0.020 (0.020)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	5 (4) (1)	0.025 (0.020) (0.005)
合計	9	0.045

(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の各データは当ファンドの直近の決算日である2018年6月10日現在のものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の各比率は純資産総額、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 基準価額の推移は当ファンドの直近の計算期間のもので、

(注4) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。